

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	工学研究科	建築学専攻	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ケルン工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Architecture		
報告書提出日	2019年9月30日		
留学予定期間	2019年9月～2020年8月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 252 (ユーロ) /合計

航空券代： 161780 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他 (semester fee)： 274,90 (ユーロ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

未取得。必要書類は揃ったので10月中に取得したいと思います。

1.2. 渡航について

行きはヘルシンキ経由でデュッセルドルフまで向かった。寮の鍵を受け取ることができるオフィスアワーは月曜9時-10時、木曜19時-20時のいずれかであったため木曜までの2日間はゲストハウスに宿泊しました。

鍵の受け渡しに関しては特に連絡もなかったため、オフィスアワーの時間に寮の前に行くもののオフィスらしきものは見つからず、寮生に聞き鍵を開けてもらうことでオフィスにたどり着きました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮の斡旋を行う kstw のページにて寮の希望者登録を行う。

連絡を待つ。月に一度、自動送信で寮のオファーを望んでいるかどうか問われるため、記載されているリンクをクリックしオファーの希望を継続する。

オファーが来れば、あとは担当者から送られてくる書類へのサインをして返送する。

日本国内にて初月分を kstw に(短期契約 30€割増分を)振込む。次月以降はドイツ国内にて SEPA 口座を開設、そこから振込。

入寮の際に部屋の傷の状態を確認し、2週間以内に伝えるようにと言われる(伝えなかった場合は退去時に入居者の責任との念押し有り)。オフィスアワーが週に3時間しかないため、その間に伝える必要

がある。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

日本の区役所だと、ご親切に目的によって区切られていて見上げれば分かりやすく文字が書いてあるし、困っているとすぐに係りの方が駆けつけてくれますが、ドイツは何もなく、まず受付があり、何の目的で来たのかを伝えたのち、番号札をもらいます。

番号がモニターに表示されたのち、奥のオフィスに入り手続きに入ります。

入寮の際にもらう住居のオーナーのサイン付きの用紙とパスポートを持参し、国籍、居住地等の質疑が10分ほどあるだけで、手続きは容易でした。

許可は即時おりるようで、受け取った許可証を提示することで銀行口座の開設も可能になります。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9.16 留学生とバディ 10 数名で朝食/キャンパス案内/CAM ラボ(建築学生用の 3D プリンター、レーザーカッター)案内

9.17 建築学部概要説明/工房案内

9.18 学部、修士合同のコース説明

9.19 履修登録説明/夕食にドイツ料理

9.20 ワークショップの予定であったが、気候変動に関するデモが行われていたため延期

プレイスメントテスト

ネットから希望の日時を指定しフォームを送信する。

ドイツ語/英語/イタリア語等が選択できる

学生登録はケルンに到着した 2 日後 international office に向かい行こう、大学の受入許可証、保険の加入証明書を持参し、後日 semester fee を振り込むように指示され終了。

振込 3 営業日後から学生証のアクティベートが可能になる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

国外でも職につけるよう英語 C1 ドイツ語 B1 の取得を目指す。これらのため、毎週語学の授業に出席し、留学生の集まりには極力参加する。3 か月間は語学力向上と文化への適応に時間を割き、その後の 2 ヶ月では土日を利用して各都市の事例調査を行う。後期に入ってからインターンをし、これまでのアジア・インド・日本で労働環境との比較をすることが当面の目標。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

語学力の向上にかけ時間を作らなかったため、特にドイツ語での会話ができない点を反省。英語に関しては日常会話のテンポについていくのに必死で、これも早急に解決したい。

3.3. 今月の学習・研修目標

今月から再来月の目標は語学力向上。
ドイツ語は文法書を19章まで進める。
英語は日常の会話に慣れるため、日常会話表現の充実を目指す。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Germany class(16:00-17:30)
火	
水	computational design(8:10-9:40) computational design(8:10-9:40) KonEK1(14:00-15:30) Germany class(16:00-17:30)
木	projektenwurf1(9:50-11:20) projektenwurf1(11:30-13:00) corporate architecture1(14:00-15:30) corporate architecture1(15:40-17:10) corporate architecture1(17:20-18:50)
金	English for architects(14:00-17:15)
土	
日	

4.2. 授業について

全て未受講
基本的にコース選択の際に取る授業が大まかに決まっている
加えて取る授業は KonEK のみで、これは毎週別の教授から課題が与えられ設計しプレゼンするというもの。

4.3. 予習・復習・自習について

同上

4.4. 研究について

進展なし

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
<p>野菜、チーズ、パンなど大抵のものが日本より安く購入できる。自炊であれば1日あたり10ユーロ以下に食費を抑えることも可能。</p> <p>インドや上海で1ヶ月近く生活した際には日本食が恋しくなることなどなかったため、軽んじていましたが、2週目にしてすでに日本食を欲しています。単にインド、上海の料理が自分に合っていたというだけということに気づきました。</p>	

5.2. 課外活動について

週に2,3回留学生とバディで外出し、大抵ビールを買い、飲みながら観光をしたりしています。
--

5.3. 現在までの感想

<p>寮に入るタイミングが合わずにドイツについてから3日間大荷物を持っての移動ゲストハウス泊をしていたことと、寮に入ってから身の回りの整理、必需品の購入などと同時に大学での説明、情報が非常に多く、2週目まではそこそこ疲れてるくに観光すらしていないことに最近気づきました。部屋にカーテンや、物干しが無い等まだ買い揃えるものはいくつかありますが今月中には生活も落ち着くのかなと思っています。また履修する授業が多いことが不安ではありますが、こちらも要領がつかむまでの辛抱かなと思います。</p>
--

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	工学研究科	建築学専攻	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ケルン工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Corporate Architecture		
報告書提出日	2019年 11月 28日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

国外でも職につけるよう英語 C1 ドイツ語 B1 の取得を目指す。このため、毎週語学の授業に出席し、留学生の集まりには極力参加する。3か月間は語学力向上と文化への適応に時間を割き、その後の2ヶ月では土日を利用して各都市の事例調査を行う。後期に入ってからインターンをし、これまでのアジア・インド・日本での労働環境との比較をすることが当面の目標。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

語学の目標達成度がよくない。11月初めまでは学内コンペにかかりきりで時間が取れず、その後の2週間は急に忙しくなくなり体調も崩し、腑抜けてしまっていた。3か月と言ったものの既に2週間で切っていることに改めて気付かされた。日々の目標設定と、調整が必要と感じた。

1.3. 今月の学習・研修目標

今年中にドイツ語は youtube の教材を目安に A1 レベルを達成する。テキストも併用し、ドイツ語の授業でアウトプットを積極的に行えるように意識を持っていく。

英語は勉強の方法がいまいちわからない、今は **technical writing** をベースにした教材で、円滑なコミュニケーションをとることを目標にしている。

研究としては、スキルアップのため 12 月からプロシージャルなデザインを毎日継続して書いていこうと思う。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期	
月	Germany class(16:00-17:30)	
火		

水	computational design(8:10-9:40) computational design(8:10-9:40) KonEK1(14:00-15:30) Germany class(16:00-17:30)
木	projektenwurf1(9:50-11:20) projektenwurf1(11:30-13:00) corporate architecture1(14:00-15:30) corporate architecture1(15:40-17:10) corporate architecture1(17:20-18:50)
金	English for architects(14:00-17:15) →無し
土	
日	

2.2. 授業について

Germany class

A1以下の受講者向けクラスの割に全員2-6ヶ月程度勉強した経歴があり、できる人主導で授業が進むため、かなり出遅れている。最近は何とか遅れを取り戻しつつある。

computational design

1. **grasshopper** を用いたコンピューターショナル・プロシージャルデザインの座学。

2. 新設する4棟の建物のファサード、特にマテリアルの提案。グループワーク。

1は1年前から独学で進めていたため、問題ない。負荷が足りないので12月から1日1課題自分で作ることにする。

2は基本的に自分がアイデアを出し、それベースで提案が固まっていくことが多いため、やりやすい。提案としてうまくいっているわけではないので、グループ内で試行錯誤している段階。

KonEK

8課題出るうち4課題を選択する授業。2課題が終わったが、まだ一つも出していない。

Projektenwurf1

駅前広場の調査、利用検討をグループで行う。課題図書が出されているが、読む時間を作れていない。

corporate architecture1

smart mobility challenge というプロジェクト。自動車メーカーのフォード社協賛のもと、新しいモビリティと新しい都市のあり方を提案するコンペ。3回審査があり、勝ち残ったチームに負けたチームが吸収されていく。チームは建築専攻の学生とカーエンジニアリングの学生、(+留学生)の2-3人で構成。自分のチームは、自分とカーエンジニアリングの学生の二人。初めは順調に進めていて、建設的な提案ができていたが、自分がアイデアを出し、それがベースで進み、見栄えのするプレゼン資料も全て自分が作っていた。教授にアドバイスをもらいにいった際にそこを指摘され、パートナー学生の教授に対する不満が多くなり、作業をしなくなった。ただでさえ一人足りない中、プレゼンボードの作成は8割自分一人でやり、パートナー学生はプレゼンの準備も原稿の内容の打ち合わせをする時間も割きすらず

本番、グダグダで終わった。

力を入れていただけに非常に不満足な結果となった。今は他チームに吸収されたが、あまりやる気が起きない。

2.3. 予習・復習・自習について

Germany class

授業まえに当日やるであろう部分の単語を調べるが、特に教科書に沿って授業が進むとも限らないので、あまり予習としての意味はない。自習として YouTube, テキストで文法を勉強。

computatinal design

ノードベースのプログラミングデザインスキルを高めるため、自習としてハーバードの講義を YouTube で聞いている。

他は全てグループワークのため時折ミーティングしている

2.4. 語学力について

英語

相手がいつていることはだいたいわかるが、自分の意図をストレートに伝えるのが難しい。できるだけ簡潔に伝えることを意識している。ミーティングではスケッチなどで伝えることができるため、あまり問題はないが、底上げがいる

ドイツ語

挨拶や、簡単な文の構造は理解できてきた。ドイツ語そのものに慣れてきたように思う。ただし、コミュニケーションは取れない。生活で見かける言葉や、挨拶に耳を傾けるなどしている。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※ 学外寮（その他： ）

備え付けの二段ベッドを解体してから居心地が良い。

食べ物は1週間 50 ユーロを目標にほぼ自炊。醤油を買ったことでレパートリーが広がった。ラーメン屋があることを聞き、月に一度食べに行く。とても美味しくて放心する。

3.2. 課外活動について

ここ2週間はほとんど家でNetflixを見ていた。もったいないなとは思いつつも、気づかないうちに疲れが溜まっていたようで、授業以外で外に出るのが億劫になっている。来週からは行ける範囲で、ケルン 以外の街に遊びにいったら建築を見てこようと思う。

3.3. 現在までの感想

疲れが溜まっている。寒いのが苦手なので、外に出る回数も減っている。あまり健康的ではないので、もう少し活動しようかなと思います。まずは忙しくて始められなかったジム通いから。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	工学研究科	学 科	建築学専攻	2 年次
派遣先大学 (国)	ケルン工科大学 (ドイツ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Cooperate Architecture	履修言語	英語	
留学期間	2019 年 9 月～2020 年 3 月			
報告書提出日	2020 年 7 月 10 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録までの過程
Autumn Winter Semester	9 月 23 日 ～2 月 7 日 (19 週)	2 月 9 日 ～2 月 12 日	9/16～9/20 の Welcome week で、履修登録についてや大学設備の案内等が行われる。所属のコースについては、基本的に自由だが、例年留学生を受け入れている教授のコースがお勧めとアドバイスをもらった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Autumn Winter Semester	Projektentwurf 1 - Corporate Architecture	57 時間	Smart Mobility City という大学と自動車メーカーである Ford 社の協働コンペに参加します。建築専攻の学生と自動車工学の学生のペアでケルン市内に新しいモビリティを活用した都市の提案を求めるものでした。計 3 回のプレゼンがある予定でしたが、コロナの関係で参加できたのは 1、2 回目のみでした。試験内容に当たるのは A1 二枚のプレゼンボードの作成と口頭によるプレゼンです。
		3(時間/回) × 1(回/週) × 19(週)	
Autumn Winter Semester	Corporate Architecture 1	12 時間	企業理念などのプレゼンを考えるといった授業で、具体的には同じコース内の学生にインタビューを行いプレゼンする、特定の駅舎を選び、現状の問題点や課題を見つけ、どう改善するか将来像を描くなどです。こちらも試験内容としてはプレゼンです。
		1.5(時間/回) × 0.5(回/週) × 16(週)	

Autumn Winter Semester	Computational Design	12 時間	大学の敷地に建設予定の建物のファサードデザインを行うもので、 grasshopper という指定のソフトウェアの使い方をレクチャーされながら進めていく授業でした。グループワークで、授業までにデザイン案を作成し教授にデザインとその生成方法含めてエスキスチェックを受けます。試験内容はプレゼンです。最終課題ではダイアグラム作成のレポートがありました。
		1.5(時間/回) ×0.5(回/週) × 16(週)	
Autumn Winter Semester	Konzeptuelles Entwerfen und Konstruieren 1	57 時間	ほとんど不定期開催に近い授業でした。担当教授が5名いて約2週間に一回、課題が出されます。その中から自分の興味ある課題に取り組み1週間後のプレゼンに備えます。内容はプレゼンボード、模型など様々で、各課題に設定されているCPが総計10になれば単位獲得です。課題によっては受講者数が非常に多くなるため、その場合は貼り出されたプレゼンの中から数名をピックアップしプレゼンなどの方法になりました。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 19(週)	
Autumn Winter Semester	Deutsch als Fremdsprache A1.1	57 時間	週2回の授業で、履修にはプレイスメントテストを受けて成績を出す必要があります。テスト後、他の授業とは異なる方法で履修登録します。20人ほどの定員制のため漏れると受講できません。自分のコースでは最も基礎的な挨拶、教え方などの内容から始まり、所々文法も習っていくような授業でした。試験はグループワークで自由内容の調査とそれをドイツ語でプレゼンするものと、ペーパーテストがありました。予習復習は必須で、一番下のコースとはいえ、半年以上ドイツ語を勉強している学生なども少なくないため、彼らに合わせて進む授業についていくためにはそこそこの努力が必要です。文法用語などは日本語でしか知らないこともあり、一番苦勞した授業でした。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 19(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

ほとんど全ての授業がグループワークであったこともあり、積極的な発言が必要でした。語学力が十分でないことから、こうした環境下でのグループワークで内容を不足なく伝えるための資料作り、絵作りは現地学生より多く行ったと思います。

1.4. 語学力について

ドイツ語はほとんど学ばずに渡独しました。

日常会話含め、小さなグループワークでは基本的に英語で話してくれたことと、友人が完全にドイツ語のレクチャーでは翻訳してくれたため、ドイツ語で困ってどうしようもないという状況には陥りませんでした。ただ多人数でのグループワークになると、どうしても途中からドイツ語にスイッチしてしまうなどで、理解ができないことが多くなりました。そこからドイツ語を学ぶ意識が強くなったため、友人との挨拶はドイツ語で行うようにしたり、看板などで日々よく見かける単語などはこまめに検索したり、友人に聞くことで少しずつ理解する努力をしました。現地語を学ぶという姿勢は友人との会話が増えるネタであって、文化への理解に対するわかりやすい姿勢でもあるということに気づけました。この頃から言語習得に楽しさを覚え始めていたと思います。

1.5. 研究について

後期から縮小都市についてのリサーチを行う予定でしたが、唐突に帰国することになったため研究のための調査はできていません。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

授業のテーマがモビリティという今世界中で扱われ始めているトピックで、他の専攻の学生と交えて議論を行い、様々な業界のプレゼンを聞く機会が積極的に与えられるなど神奈川大学では中々得難い経験ができたのは大きな学びにつながりました。グループワークで積極性が必要とされた環境に身を置いたことも大きな体験でした。

一方で、現地の建築学生の技術的な点については、自分の方が数段優れていたため教えることが多く、この時言語化できない部分や複雑なプロセスをいかにシンプルに伝えることができるかという意識を育てることに役立ったと考えています。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

ドイツ語が分からないということもあり、ドイツ語でのレクチャーは全く理解できない状態だったので、レクチャーの度に事前に教授に許可をもらい、録音・自動翻訳を行っていました。実は翻訳は精度的にはあまり良くなく、理解も十分ではありませんでしたが、学ぶ姿勢を教授に行動で示すことは友好的な関係を築く助けになったと感じます。行動で学習意欲を示したことで、友人の目にも留まり、以降積極的にフォローしてくれるようになりました。考えているだけでは周囲も助けようがありません。例えば間違っても周囲に積極的に行動で示すことは自分以外の誰かからのアクションも引き起こせると思います。

2.3. 留学生活で得られたもの

自分の時間が確保できたことです。大学時代はずっとアルバイトや課題に追われ、好きなことを考える時間が少なかったことに気づきました。ケルンでは、周りがいい意味で頑張りすぎないこともあり、休日の時間を大事にできました。公園でぼんやりと一人で過ごす時間は、マイノリティとしての自分についてや、今後の建築業界について考える余裕を与えてくれました。当たり前のことのようにですが、自分にとっては大きなことです。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

とにかく考えて、それが周りから見える形で動くことが大事だと思います。自分はたくさんの人の協力が生活や学習をスムーズにしてくれました。幸運なことに言語以外はあまり苦労らしい苦労をしなかったと思います。

反省点としては、半年あったにもかかわらず、ヨーロッパ観光どころかケルン市内の観光すら満足にできなかったことです。建築を勉強する上で、現地の建築を訪れることはとても重要なことなのですが、近くていつでもいけるからと考えていたところ、COVID-19のパンデミックにより全て閉鎖、緊急帰国となってしまいました。特殊な例ではありますが、いつでも行ける、いつでもやれると先延ばしにしてしまうことは後にトラブルが起きた際に取り返せないことにもなりかねないので、全力で楽しむ努力をするべきだと思います。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

派遣先国	ドイツ	
派遣先大学	ケルン工科大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(corporate architecture) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	工学研究科	建築学専攻
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年9月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 7ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 2)
3	住居形態の詳細を教えてください。	2DK
4	入居時手続き	寮エントランスにあるオフィスにて説明を受け鍵をもらう。
5	費用 (月額)	28000 円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (2000) 円
7	支払方法	ドイツの口座から自動引き落とし
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (暖房機)
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大学に紹介される web サイトを通じて)
10	周囲環境	最寄りスーパーまでトラムで15分
11	アクセス	大学から45分 トラムで一本。学生証が定期券となる
12	留学中の住居に関してアドバイス	住宅不足のため、可能な限り早目の寮探しをお勧めします

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(02)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）			
1	宿舎費	27600 円/月	備考（ 230euro ）
2	食費	42000 円/月	備考（ 350euro ）
3	交通費	円/月	備考（ 0 ）
4	通信費	2400 円/月	備考（ 20euro ）
5	娯楽費	12000 円/月	備考（ 100euro ）
6	図書費	円/月	備考（ 0 ）
7	学用品（教科書など）	円/月	備考（ 0 ）
8	被服費	円/月	備考（ 0 ）
9	医療費	円/月	備考（ 0 ）
10	雑費・その他	5520 円/月	備考（46euro(semester fee)）
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）			
11	出願料・宿舎デポジット	円/月	備考（ 0 ）
12	ビザ申請関連費	12000 円/月	備考（ 100euro ）
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	20000 円/月	備考（ ）
14	その他	円/月	備考（ ）
15	留学全日程に要した総額（概算）	778638 円/合計	
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時： 100000 円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）		
17	現地で銀行口座開設	した	
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	ドイツでの生活に口座開設は必須。様々な手続きに必要なので、早めに開設を。	
19	お金に関するアドバイス	物価は基本的に 日本と比較して安い傾向にある、特にLiDLをはじめとするディスカウントスーパーでは食材はもちろん、日用品も時折 30%off で買えたりとお得。	

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (12か月分で 134,740 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	コンタクトレンズ
2	現地で購入したもの
	Macbook 充電器のCプラグ、デスクランプ、その他日用品
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの
	特にありません、大抵のものが買えます。ただしアジアの調味料は割高かつ、品揃えもそれなりなので、こだわりのものがあればそれを持っていくと良いと思います。おそらく、結局自炊するのは日本食になると思います。

VI. 留学先で困ったこと

特にこれといって思い当たりません。ルームメイトが住んで3年目だったので、大抵のことはサポートしてくれました。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

お金の十分な準備があれば、大抵のものは現地で買えてしまいます。保険や銀行口座の開設、住民登録、ビザなどは店舗、役所によっても対応が異なることがあると思います。大まかな流れは ネットなどで調べておき、あとは現地でいろいろな人に積極的に聞いたりしながら解決することになると思います。